

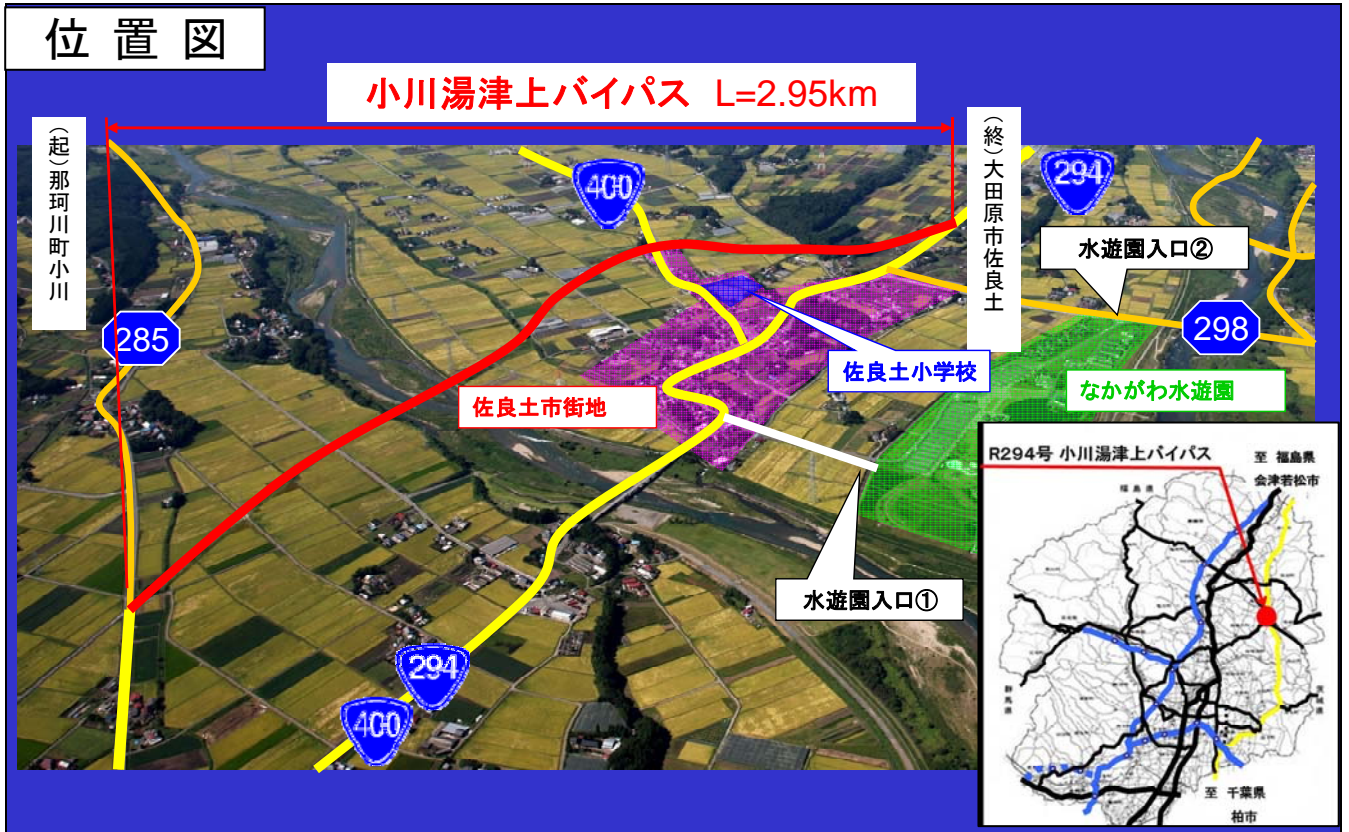
## 道路事業の再評価概要書

( ) は、前回(H21)再評価時

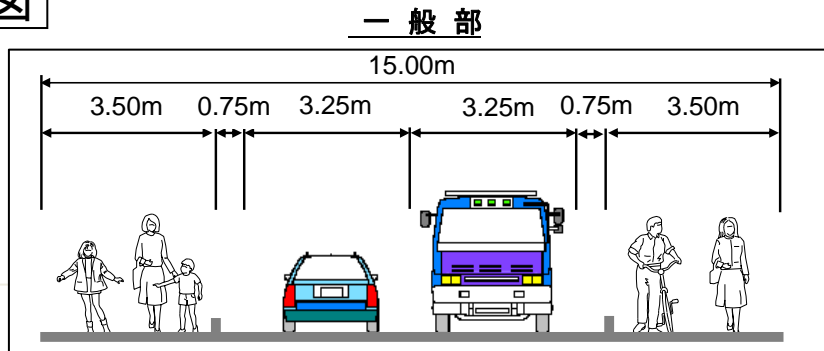
			番 号	1
			事業主体	栃 木 県
事業名	快適で安全な道づくり事業		事業所管課	県土整備部 道路整備課
路線・河川名	一般国道 294号		事業箇所名	なかがわ おおたわら 那珂川町・大田原市 おがわゆづかみ 小川湯津上バイパス
事業区間	なかがわまちおがわ おおたわらしきらど 那珂川町小川 ~ 大田原市佐良土		事業延長	2,950m
H12年度事業化			H13年度用地着手	H19年度工事着手
事業期間	(H25) H12年度~H28年度	事業 進 捗 状 況	基準年次：【平成26年度末時点】	
[うち用地補償費]	[ 4.7(4.5)億円]		進捗率	
全体事業費	30.3(22.9)億円		[うち用地補償費]	[ 4.7億円] [100%]
		既投資事業費	21.8億円	72%
事業概要				
<p>一般国道294号は、千葉県柏市を起点に福島県白河市を經由して会津若松市に至る延長約264kmの幹線道路である。また、本路線は本県東部を縦断し、八溝地域をはじめとする沿線地域の観光産業や経済、生活を支える重要な路線であり、第2次緊急輸送道路に指定されている。</p> <p>しかし、なかがわまちおがわ おおたわらしきらど 那珂川町小川から大田原市佐良土までの区間は、人家が連担し、幅員が狭小で、道路線形が屈曲していることから、大型車交通の支障となっており、交通の円滑化と安全性の向上が求められている。</p> <p>また、朝の通勤時間帯や、観光シーズン時には、特に箒橋北の屈曲部を中心に渋滞が発生し、県東部の広域幹線としての機能が確保されてない状況にある。</p> <p>このため、現在進められている一級河川 箒川の新箒橋とともに、当該区間の安全で円滑な通行を確保し、沿線地域の観光・経済の活性化を図るため、バイパス整備を行うものである。</p>				
事業を巡る社会経済情勢等の変化				
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年の大震災や平成26年2月の大雪時には、東北縦貫道や国道4号が通行止めや大渋滞に見舞われ、福島とを結ぶ幹線道路の重要性が浮き彫りとなった。</li> </ul>				
事業の投資効果				
1 費用対効果分析結果		【総便益(B)】	【総費用(C)】	
(1)事業全体 B/C= 1.8		64.0億円	35.0億円	
(2)残事業 B/C= 5.3		53.0億円	10.0億円	
2 事業の整備効果等				
<ul style="list-style-type: none"> <li>大型車交通の支障となる線形不良区間を迂回することによる走行性および安全性の向上</li> <li>新橋架設による、緊急輸送道路の機能強化</li> <li>朝の通勤時間帯や観光シーズン時の渋滞時における通過交通の円滑化</li> </ul>				
3 その他				
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度に一部約1.0kmのバイパス区間を先行供用し、交通の分散が図られるとともに、佐良土小学校の新たな通学路として児童の安全が確保された。</li> </ul>				
事業の進捗状況等				
1 事業の進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度 用地取得完了。一部約1.0kmのバイパス区間の供用開始。</li> <li>平成26年度末時点における工事の進捗率は約72%の予定。(事業費ベース)</li> </ul>				
2 今後の事業進捗の見込み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>新箒橋や、取付部の盛土改良工事を推進しており、平成28年度内の完成供用を図る。</li> </ul>				
コスト縮減等				
1 コスト縮減方策				
<ul style="list-style-type: none"> <li>再生骨材、再生アスファルト合材を積極活用しコストを縮減</li> </ul>				
2 代替案立案等の可能性				
<ul style="list-style-type: none"> <li>用地取得が完了しており、大部分の工事に着手していることから、本計画が最適である。</li> </ul>				
事業の対応方針(案)		現計画で事業を継続する。		

# 事業箇所（位置図・概要図）

## 位置図



## 標準横断面図



## 概要図

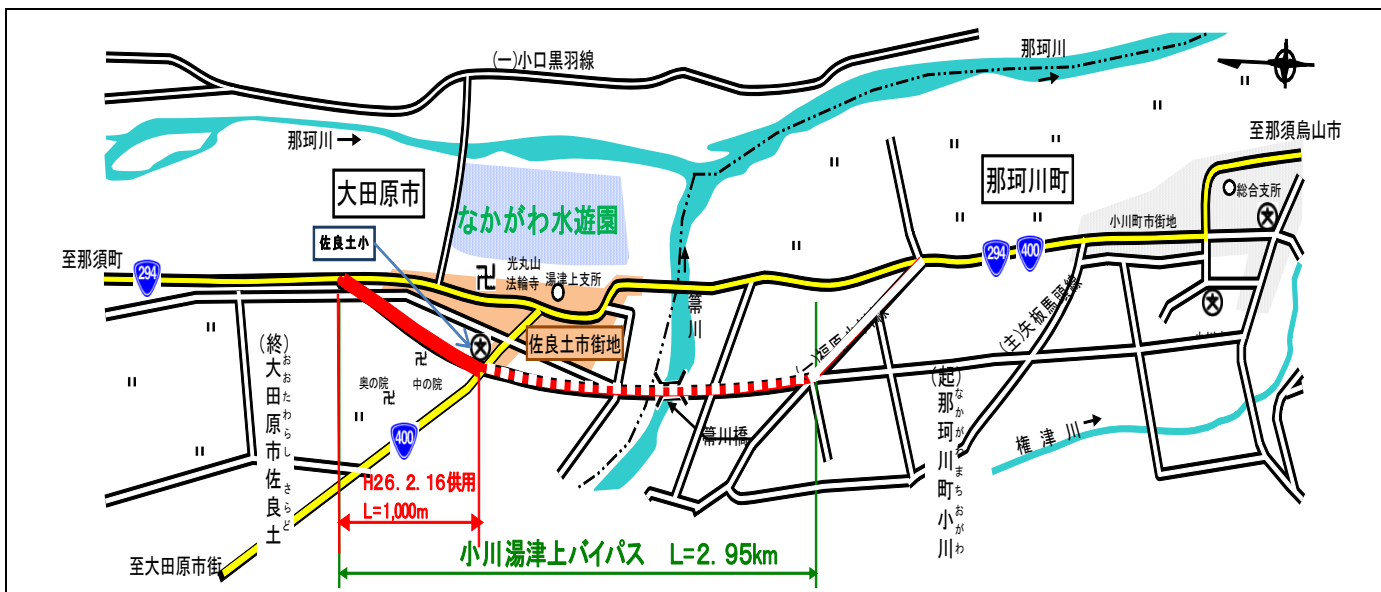




写真 1 : 箒橋北側渋滞状況



写真 2 : 佐良土交差点南側の道路線形屈曲状況



写真 3 : 歩道整備の状況 : 幅員 W=1.5m